

噴火湾

少しずつ戻ってきた登別温泉街の宿泊客を取材した。生まれたばかりの子ともがいるから宿の外は出歩かなかった、高齢の親も誘ったが断られた。人それぞれだが、新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ大きいと感じた。

若い男性3人組に話を聞くと、小樽商科大に今年入学した1年生という。札幌市の山本俊樹さん(18)は「友達つくりで来たんです」と答えてくれた。一緒に来た2人は大学の同級生。前日に初めて対面したそうだ。

入学後、授業は全てオンライン

初対面の自転車温泉旅

で行われ、描いていた大学生活は送れない日々だった。山本さんは「入学した実感すらなかった」と振り返る。オンライン授業の中、共通の趣味を持つ自転車仲間を見つけた。「夏休みに自転車で登別温泉まで行って、1泊しよう」と提案。札幌から途中休憩を挟みながらロードバイクで5、6時間かけて登別へ。誘われた遠藤駿斗さん(19)は「初めて実際に会った時は緊張したけど、すごくいい思い出になった」と笑った。

退学を考える学生もいるなど、多くの人がコロナ禍で厳しい状況にある中、チャンスをつくり出す前向きな姿に一条の光を見た思いがした。

(今関茉莉)

授業 対面 & オンライン



大学後期

密避け併用相次ぐ

道内の大学で夏休みが終わり、後期の授業が始まった。前期は新型コロナウイルスの影響で、ほとんどの大学でオンライン授業が中心だった。後期は、文部科学相が対面授業の再開を大学側に求めたものの対面授業だけで行うのは難しく、対面とオンラインを併用する大学が多くなっている。

落葉が増えて秋らしくなってきた札幌市北区にある北海道大のキャンパス。だが、昼休みも休み時間も構内のメイントリートを歩く学生は、そう多くはなかった。他大学の一般教養にあたる全学教育科目は9日までオンライン授業で、対面授業は12日に開始されるからだ。

だが、ようやく始まる対面授業も全てで実施されるわけではない。希望者が多い授業は、座席の間隔を保てず「3密」になるためオンラインで

▲ 人通りが少ない北海道大のメインストリート

対応する。対面かオンラインかの線引きは教室の収容人員などによって違い、文学部では授業科目により30人以上はオンラインで、30人未満は対面授業が可能になるほか、収容人員の50%未満の場合も対面で可能としている。

同大総合文系1年の山下晴海さん(19)は前期は試験で2回、北大構内に入っただけという。後期は授業を11コマ取る予定だが、4分の1の3コマしか対面授業がない。履修希望の多い人気授業は教室を確保できないため、オンラインになる。山下さんは「同じ授業に参加する人たちと友達になりたいのに……」と残念そうに話す。

小樽商大も、オンライン授業を基本としながら対面授業を一部で再開する。ただ、構内が狭いことに加え、大教室での講義形式の授業などでは基本的にオンライン授業になる。穴沢真学長は「札

幌から通学する学生も多く、感染のリスクがある。学生たちには新しい生活スタイルを意識した行動を」と呼びかけた。

帯広畜産大では、前期は一部の実験・実習のみ対面授業だったが、後期では1年生対象の講義科目の一部で対面授業も可能とした。

北海学園大は、対面授業が不可欠とされる科目やゼミ、実習などでは対面授業を行うが、その場合でも教室収容人員の3分の1以下という条件付きで行う。

北星学園大は学生の登校の機会を確保するため必修科目の一部を対面授業とする考えだ。入退記録を残すためにすべての学生と教職員がカードリーダーに学生証や入館証をかざし、サーモカメラで体温をチェックするようにしている。同大では「仮に感染者が確認された際に適切な対処ができるため」としている。